

研修報告 E班1グループ S・O・M

『ポータルサイト利用率向上へ～さらなるコミュニケーションに向けて～』

1. テーマ選定理由

(1) 大学の役割

自主的な学びを通じ、今後の人生のための基盤づくりの場を提供する

(2) 大学の現状

今後の人生のための基盤づくりの場を提供してはいるが、自主的な学びを促進できるシステムがない。またそのようなシステムを運用（有効活用）できない教員がいる。

2. 問題点の立ち回り

①一方通行（教員からの一方的な講義）な関係

②教員⇄学生の間が弱い

③学生の学力低下

などなど……

そこで特に注目したのが

⇒一方通行な関係……教員と学生の双方向性の授業の実現、環境改善へ

3. 解決策の検討

新たに何かを開発するのではなく、現状使っているツールを活かし解決に導けないかと考えた。そこで現状使っているさまざまなツールの中から、『ポータルサイト』の有効活用によって解決できるのではないかと考えた。

4. 大学イノベーションの提案

(1) テーマ

「ポータルサイトの利用率向上～さらなるコミュニケーションに向けて～」

(2) 解決法

ポータルサイトの機能のひとつであるお知らせ（掲示板）のカスタマイズ
⇒チャット機能の導入（事前事後学習）

お知らせ（掲示板）をチャット化することによって生まれる可能性

- ・クラスごとでできるチャット
- ・教員との意見交換
- ・音声、映像の配信システム
- ・学生のレポート公開
- ・授業アンケート etc...
- ・過去のやりとり保存
- ・授業関連や事前資料の添付

(3) 上記（2）解決法における問題点

- ①教員の利活用に格差がある
- ②使える教員、使えない（使わない）教員がいる

(4) 提案

- ・体験型の研修、説明会
- ・定型文機能の追加
- ・シンプルなシステム

(5) 効果

上記（4）の提案を行い、ポータルサイトの利活用をしてもらうことで、
「自分でも出来そうだ（利活用出来そうだ）」と気づくことができる！
また、ポータルサイトの利活用が ICT 教育の第一歩となり、今まで利活用してこなかった教員へ今後ポータルサイトとは別の ICT 教育を利用するきっかけとなり、波及効果を生むことができる。教員の ICT 活用の選択の幅が広がり、さらに高い教育に寄与することが出来る。